



第124号

2025年(令和7年)
10月31日発行

牛久市議会だより

第3回定例会 9月11日～10月3日

特集 令和6年度決算

目次

P2～P5	令和6年度決算
P6～P15	一般質問
P16～P17	常任委員会審査報告
P18	議案の審議結果
P19	会議録検索システム導入
P20	まちかどトピックス

牛久市の稲刈り
黄金色に輝く稲穂。
大切に育てたお米が実りました。



決算特別委員会が行く！

決算特別委員会

委員長 柳井 哲也

副委員長 伊藤 知子

委員 石原 幸雄

遠藤 憲子

杉森 弘之

藤田 尚美

甲斐 徳之助

磯山 和男

出澤 大

水梨 伸晃

おくの義務教育学校一体型校舎完成



総事業費36億5824万円（令和6年度決算20億5828万円）

令和2年度に旧奥野小学校・牛久第二中学校を統合、おくの義務教育学校が開校しました。分離していた施設を一体化することで、より効果的に小中一貫教育を推進し、児童生徒の学びを充実させることができます。

令和3年度より実施設計などを行い、令和5年度から旧牛久第二中学校の校舎の増築、及び長寿命化改修等の整備工事を実施してきました。



広々とした音楽室。

机や椅子など、使用可能なものは引き続き新校舎で使用しています。

決算特別委員会での質疑より

問 児童クラブ棟の建設はどうなったのか？

答 現在、空き教室を利用し児童クラブを運営しているが、運営上支障がないため児童クラブ棟の建設予定はない。

問 今後の工事の進捗と工事費の増額の有無は？

答 現在工事中の体育館とテニスコートは11月に完成予定。工事費は増額になる見通しはない。

庁舎非常用発電設備更新工事

1億3601万円



災害時など外部商用電源が消失した場合においても、庁舎で通常行政サービスを維持継続させるため、長時間連続給電可能な発電設備への更新を実施。

負荷容量・発電設備容量の比較

旧 発電容量：300KVA、タンク：灯油170ℓ ⇒ 約2時間運転

新 発電容量：300KVA、タンク：軽油5,000ℓ ⇒ 72時間運転

令和 6 年度決算を認定！



Q 決算の認定って
どんなことをするの？

A. 予算が適正に使われたか、金額に見合った効果が出ているかなどの視点でチェックを行い、税金の使われ方を市議会でしっかりと確認します。



Q 認定されなかった
場合どうなるの？

A. 既に支出されたものを取り戻すことはできませんが、不適切かつ非効率な支出があった場合はそれを明らかにすることで、今後のお金の使い方や行財政運営の改善に役立てる大切な役割を担っています。

決算の内容は？

会計別決算		歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計		35,154,162,926 円（ 4.9%増）	34,343,135,828 円（ 8.3%増）
特別会計			
国民健康保険		7,214,459,598 円（ 0.6%減）	7,214,459,598 円（ 0.6%減）
青果市場		19,465,286 円（22.9%増）	19,075,516 円（35.6%増）
介護保険		6,940,825,427 円（ 1.5%増）	6,940,260,378 円（10.9%増）
後期高齢者医療		2,669,774,712 円（13.4%増）	2,669,774,712 円（13.4%増）
公益企業会計			
下水道	収益的収支	1,777,466,016 円	1,606,996,919 円
	資本的収支	706,962,420 円	1,006,957,783 円

牛久市の財政の健全度は？

健全度を判断する指標には以下のようなものがあります。

実質赤字比率

一般会計における赤字の程度のこと

令和 6 年度

△2.13%

早期健全化基準 12.60%

連結実質赤字比率

一般会計だけでなく、特別会計や企業会計を含めた
会計全体における赤字の程度のこと

令和 6 年度

△4.07%

早期健全化基準 17.60%

実質公債費比率

市債（借金）の償還金にあたる公債費（返済に
必要なお金）の負担が、財政規模に対して
どのくらいあるのか

令和 6 年度

3.4%

早期健全化基準 25.0%

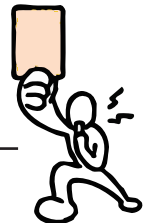
将来負担比率

将来的に返済しなければならない借金が、
収入や財政規模と比較してどのくらいあるのか

令和 6 年度

△29.8%

早期健全化基準 350.0%



早期健全化基準とは
財政状況の改善を
促すための、
「イエローカード」
のようなものです。
基準を超えると、
「早期健全化団体」
となり、財政健全化
計画の策定が義務付
けられます。
牛久市は全て基準を
下回る数値となって
います。

安定した市民サービスの提供ができたか?費用対効果を検証!

健康増進や介護予防のために

必要な方に受診や健診を勧奨



介護予防と保健事業を一体的に
実施する **140万円**

☞ 議員のここチェック

問 介護予防や健康増進のため、
どのようなことを行っている
のか。

答 高齢者で病院や健診の未受診者などの健康状態が全くわからない方、高血圧や糖尿病で病院を受診していない方や治療を中断している方に対し個別に健診や医療機関受診勧奨を行っている。また、地域の区民会館で行われている体操教室などでフレイル予防に関する普及啓発を行っている。

私もひとこと



シルバーリハビリ体操指導士会会長
下位 哲さん

シルバーリハビリ体操が開発されて20年余り、市内には約40か所の自治会館などに教室があります。体操は、フレイル予防、認知症予防にも効果があり、指導士のリードで衰えた筋肉や関節を動かしています。

人生100年時代を介護のお世話にならないで、健康寿命を延ばしたい思いです。

教職員と連携しながら 子どもに寄り添い支援

特性のある子どもへの
支援は6割弱



スクールアシスタントを派遣する
6564万円

☞ 議員のここチェック

問 スクールアシスタント（以下
SA）の不足に対する6年度の
対応は。

答 支援が必要な子ども全てに支援していきたいと考えている。学校ごとに配置しているSAを学校の方で割り振って何とか対応してもらっている。

私もひとこと



神谷小のスクールアシスタント

私たちSAは、授業中の支援をはじめ、体育や給食の補助、見守りなど、日々子どもたちのそばでサポートしています。

一方で、十分に支援が行き届かない場面もあります。もう少し人員や時間があれば、より多くの子に寄り添えるのにと感じます。子どもたちの成長や先生の負担軽減にやりがいを感じつつ、限られた勤務時間に歯がゆさもあります。

これからも地域や家庭、そして先生方と力を合わせ、子どもたちの笑顔を支えていきたいと思っています。

牛久市の魅力を発信

アニメコラボによる経済効果は



ラブライブ!のキャラクターでラッピングされたかっぱ号

牛久市のシティプロモーションを行う **2448万円**

☞ 議員のここチェック

問 アニメコラボレーションによる
交流人口の増加と経済効果は。

答 ラブライブ!スーパースター!!に登場する鬼塚姉妹の特別住民票^{うりさば}売捌き料が、制作コストを差し引いて58万7,800円の利益となった。また、タイアップを行っている市内事業者からは売上が伸びたとの報告があり、牛久シャトーは過去最大の売り上げとなったと聞いている。タイアップのイベントの開催時には駅周辺の飲食店が混雑するなど、経済効果を生んでいると認識している。

私もひとこと

パンの店

ひつじ雲
まつむら よしひろ
松村 良寛さん
かよこ
香代子さん



家族で営む店なので、イベントで販売する300個のパン作りには家族の総力で取り組みました。ラブライブ!のシール付きで、焼き芋好きのキャラクターに合わせお芋のパンを作り、多くの方に手に取っていただけました。今後は市の支えで、牛久の小さなお店と一緒にまち全体で盛り上がる持続的な取り組みになってほしいと思います。

災害にどう備えるか

ハザードマップを作成し

防災に関する様々な情報を掲載



危機管理体制を整える

885万円

🏠 議員のここチェック

問 洪水ハザードマップを作成した経緯は。

答 令和5年度から6年度にかけて、茨城県から市内の中小河川について、洪水浸水想定区域の指定を受け、これに伴い牛久市洪水ハザードマップを作成し全戸に配布を行った。



今年6月に行われた防災訓練

私もひとこと👤

牛久市役所防災課

自分たちが暮らしている地域がどのような災害リスクを有しているか一人ひとりが認識することで、混乱のないスムーズな避難が可能になります。

洪水ハザードマップを活用し、災害が発生した際の避難場所や避難経路、危険な場所を確認いただき、被害を最小限にとどめるにはどうしたらよいかを考える一助となることを期待します。

牛久市の歴史を物語る 旧飯島家住宅

施設公開に向けて調査中



旧飯島家住宅を管理する

371万円

🏠 議員のここチェック

問 施設公開に向けた計画は。

答 旧飯島家住宅の母屋と蔵に多くの資料があり、現在は母屋の調査を進めている。母屋から出てきた牛久シャトー関連の資料は、すでにシャトー内のビジターセンターで公開している。今後は蔵の方の資料整理を行い、出てきたものを調査して、公開をどのようにしていくか検討する。

私もひとこと👤

飯島家は天皇が宿泊した由緒ある家。陸前浜街道と呼ばれた今の旧水戸街道沿いにあり、馬宿として栄えたこの地は、かつて屋号で呼び合い、人々の営みが息づいていた。今ではこうした旧跡も牛久村の成り立ちからの歴史もあり知られていない。様々な旧跡や歴史を一つの物語として結び、今を生きる人たちに伝えていきたい。

市民の方より



牛久シャトー関連の資料を展示しているビジターセンター

観光施設維持のために

快適に過ごしてもらうため

植栽管理などを実施



観光施設の美観を保つ

2338万円

🏠 議員のここチェック

問 現在の観光アヤメ園のあり方について市の考えは。

答 アヤメ園は大部分がハナショウブで、開花が鈍く、花が咲いてないという指摘をいただく。原因は連作障害と土壌環境と考えている。土壌改良には多額の経費を要するため、現在ポット仕立てのハナショウブの苗を植えている。水分過多は開花に良くないため、6年度は水はけを良くする取り組みを行った。令和5年と6年に植えたポットは今春開花しており、徐々に効果は出始めていると考えている。

私もひとこと👤



新地の台地で
活きる会 代表
粉川 恵美子さん

アヤメ園の再生には、牛久沼の水を循環させるなどの水辺環境を含めた全体構想が必要だと思います。年間を通じての植物計画も。桜から始まりアヤメや菖蒲、かつて田の畔に咲いていた黄色いアヤメ、さらに紫陽花、睡蓮、萩、曼珠沙華、希少植物の半夏生等々。子どもがザリガニをとり、皆が憩い集う場所としてのアヤメ園の再生を願います。

市政を質す！ 一般質問

令和7年第3回定例会において、19人の議員が一般質問を行いました。
市長などの執行部に対して、市の政策や方針について質問を行いました。
動画は牛久市議会 YouTube チャンネルでご覧いただけます。
各議員のページに掲載している二次元コードを読み取ってご覧ください。



知っ得

質問方式選択制

牛久市の一般質問において、質問の方法を「一括質問一括答弁方式」または「一問一答方式」から選ぶことができます。
「一括質問一括答弁方式」とは、質問者がすべての質問をまとめて行い、答弁者はそれに対してまとめて答弁を行うことです。「一問一答方式」は質問者が最小単位の質問を一問ずつ行い、答弁者はその質問に対して答弁を行うものです。



石原 幸雄 議員



公共施設等の整備にPFI方式を

答弁) 有効な手法の一つと認識している

質問 長引く不況や少子化等による人口減少により本市を含む多くの自治体では税収の伸びが期待できず、その為に今後の公共施設等の整備費用の確保が課題となっている。一方、近年はこの様な自治体の財政事情を踏まえ、公共施設等の整備費用を民間事業者が調達し事業を完了させるというPFI方式を導入する自治体が増加しつつあるが、PFI方式は事業費用の支払いが平準化できる等、自治体財政にとってメリットがある。故に本市においても市庁舎の建て替え事業にPFI方式の導入を検討すべきと考えるがどうか。

答弁 (市長) 事業方式の一つとして検討して参りたい。

海外企業の誘致について

質問 本市は台湾桃園市との友好都市協定の締結を目指しているが、桃園市は台湾有数の工業都市であり、同市には

半導体やIT関連企業が集中していることを踏まえ、桃園市の企業の本市への誘致を検討すべきと考えるがどうか。

答弁 (市長) 桃園市との友好協定の締結は観光交流を目的としているが、その延長線上での状況や環境次第で検討する。

シャトー周辺の景観形成について

質問 シャトーへの集客を高める一環として、市庁舎等シャトー周辺の公共施設の外壁をシャトー同様にワインレッド色で統一しては如何か。

答弁 (総務部長) 質問の趣旨を踏まえて今後対応して参りたい。



『防災庁の誘致』本市はどうする

柳井 哲也 議員



答弁) 具体的な方針が示されたら取り組んでいく

質問 政府は来年度防災庁を設置し地方に防災拠点を造るとしている。首都直下型地震、富士山大噴火、南海トラフ地震が発生した場合、他と比べて圧倒的に災害の少ない牛久市が最も立候補するのにふさわしい自治体と考えるが。

災害発生時の外国人対策

答弁 (市民部長) 本市は津波のリスクが極めて低く、地盤も強固で、大規模災害の少ない地域である。防災拠点の立地候補地として評価されうる要素を有しているので、国や県において立地に関する方針が示されたら本市の持つ優れた特性をしっかりと発信していく。



牛久市の防災倉庫

質問 政府は来年度防災庁を設置し地方に防災拠点を造るとしている。首都直下型地震、富士山大噴火、南海トラフ地震が発生した場合、他と比べて圧倒的に災害の少ない牛久市が最も立候補するのにふさわしい自治体と考えるが。

に避難所を案内する外国語表記のチラシを差し込む準備をしている。言葉の壁を取り除くことが重要なので対応を研究すると共に日頃から近隣住民とのつながりが最も大切な災害対策であることを広めていく。

公共トイレの更新問題

質問 小中学校の和式トイレと洋式トイレの実数と今後の方針は。

答弁 (教育部長) 小、中、義務教育学校の校舎トイレの洋式化率は98%。総数619基のうち小学校で12基の和式が残っている。今後も児童生徒が安心して快適にトイレを利用できるよう洋式化を進めていく。

質問 今後一番先にトイレ建設を予定している所は。

答弁 (建設部次長) 牛久駅西口駅前広場のトイレ(男子用、女子用、バリアフリー)を令和8年3月末までに整備していく。

全市民に対する物価高騰支援策は

鈴木 勝利 議員



答弁) 今後検討していきたい

質問 令和7年度の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用事業は。

答弁 (経営企画部次長) 住民税均等割非課税世帯への給付金事業の実施、ハートフルクーポン券のプレミアム分の拡充を継続する。

質問 全市民に対する支援策を打ち出すべきでは。

答弁 改めて今後交付金が見込まれた場合、事業の枠組みを検討していきたい。

市役所駐車場の通行区分明示を

質問 市役所裏門から本庁舎や分庁舎までの歩行者通路や歩道を設置しては。

答弁 (総務部次長) 安全確保は必要と感じているので、引き続き検討していく。

質問 自転車レーンの設置等はどうか。

答弁 自転車についても引き続き検討していく。

学校の熱中症対策

質問 登下校時の対策は。

答弁 (教育委員会次長) 日傘やネッククーラー、クールタオル等の活用を認めている。

質問 室内での対策は。

答弁 エアコンを適宜活用するとともに、いつでも水分補給できるよう配慮し、ネックタオルやネッククーラーの使用も認めている。

質問 体育館、校庭、プール等の室外での活動は。

答弁 暑さ指数を基準に活動を制限している。

質問 体育館へのエアコン設置についての見解は。

答弁 (市長) どのような設備を導入するのが効率的、かつ、財政面でコストを抑えることができるか等、先進自治体の導入事例や国の交付金等財政支援などの調査研究に着手している。





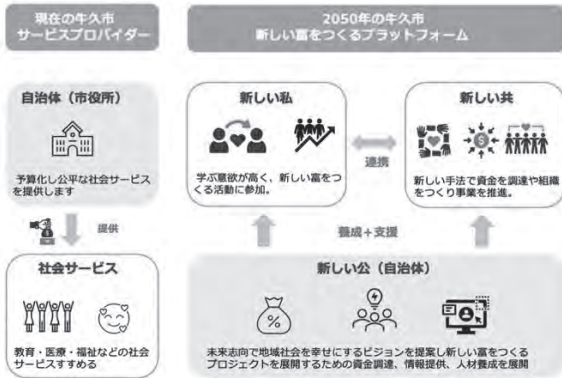
塚原 正彦 議員



中高生参加の未来ワークショップを

答弁) 未来志向の人材養成について調査研究

2050年の牛久市は、人口8万人で都市機能が維持でき、成長可能性のある数少ない都市である。率先垂範して未来ビジョンと新しい富をつくるシナリオを具体的に提起し、市政改革を推進する責任がある。



2050年の牛久市は、サービスプロバイダーから新しい富をつくる機関(プラットフォーム)に変わらなければならない。「未来予測ワークショップ」は、新しい私と共を担う現在の中高生が、市政に参画する演習プログラムである。

質問 2040年に日本の人口減少は深刻化し、労働力不足、社会保障の不全、インフラ崩壊が現実化する。危機を克服するためには地方自治体は、サービス提供機関から公・共・私が協力し富を創造する機関に変わらなければならない。

答弁(市長) 新プラットフォームの構築は必要であると考え、現段階では中高生が市政に参画するそれは検討していない。未来を担う若年層の地域での社会・文化起業の可能性を学ぶ「未来ワークショップ」を参考に今後調査研究をすすめていく。



磯山 和男 議員



おくの義務教育学校の横断歩道の移設は

答弁) 警察への確認によると移設の方向で検討している

質問 7月末までに交通安全推進員より報告されるカーブミラー設置要望の調査が11月中旬となる理由は、

道路反射鏡・路面標示等設置要望書の取り扱いについて

質問 おくの義務教育学校正門前に横断歩道を設ける予定は。

答弁(市長) おくの義務教育学校については、令和7年3月に施設一体型校舎及びグラウンドの工事を完了し、4月から供用を開始している。正門は、安全性を高めるため歩道分離とし、既存の桜並木を活かしたアプローチとするため移設した。移設に伴い、児童の安全な横断を保護するため、6月4日に横断歩道の移設を牛久警察署へ要望した。今回、その対応状況につき牛久警察署に確認したところ、通学の安全を確保するため、移設する方向で検討しているとのこと。

答弁(市民部長) 推進員より提出される「道路反射鏡・路面標示等設置要望書」は、締切を7月末とし、提出までの期間は2か月間を設けている。カーブミラーや路面標示、その他交通安全に関するものは、推進員からの要望に留まらず、7月から8月末までに実施される通学路危険箇所調査やタウンミーティングでの要望も踏まえ、9月から10月にかけて市担当者により現場確認、設置候補地の特定と土地所有者調査及び事前協議等を行い、11月に推進員役員による最終的調査を実施しており、要望の締切りから調査までに3か月を要するのは、このような事情によるためである。



30km圏外の牛久市も原子力災害対策編の作成を

杉森 弘之 議員



答弁) 市民の生命と財産を守るために尽力

質問 2011年の東日本大震災における原子力災害では、放射性物質が30km圏よりも広範囲に拡散し、住民生活や産業に甚大な被害をもたらした。そのため、30km圏外の多くの自治体が地域防災計画に原子力災害対策編を新設した。原発のない長野県小諸市、千葉県我孫子市も、原発のある宮城県仙台市も同様である。

原災法はすべての市町村に
原子力災害対策特別措置法(原災法)は、第五条(地方公共団体の責務)で、「地方公共団体は、この法律又は関係法律の規定に基づき、原子力災害予防対策、緊急事態応急対策及び原子力災害事後対策の実施のために必要な措置を講ずること」を明記しており、30km圏内の市町村だけに限定すべきなどとは一言も書いていない。しかし、茨城県の原子力災害対策計画編は所在・関係周辺市町村すなわち30km圏の重点区域市町村だけに限定しており、不十分ではないか。

答弁 (市民部次長) 牛久市は重点区域外であることから対応不要などという考えは全くない。

屋内退避より避難を

質問 茨城県の原子力災害対策計画編でさえ、30km圏外でも運用上の介入レベル「オー」の最高「オー」では、防護措置として、住民等の数時間内の避難等を明記しており、移動が困難な者の二時屋内退避を含むとしている。牛久市の見解を聞く。

答弁 当市においても必要に応じて「区域の特定」「避難措置」「屋内退避」いずれかを迅速に実施できるように準備体制を強化していく。



志賀原発のある石川県志賀町の道路も、2024年能登半島地震で至る所が寸断された。(志賀町資料より)

ごみ集積所の課題に行政の支援を

山本 伸子 議員



答弁) 高齢化や地域の希薄化などへの対策を検討

質問 ごみ集積所の設置費用は自治会が負担しているが、自治会未加入者は負担をしていないところもあり不公平感が表面化。自治体が設置費用を助成している例もあるが市の考えは。

答弁 (環境経済部次長) 自治会加入者と未加入者の不公平感を感じ、集積所の管理や行政の支援のあり方を研究する。



自治会加入の有無に関わらず市の収集に協力するのは市民の責務

就学後の子どもの居場所を

質問 市が行った小学生保護者のニーズ調査の結果からみえた現状と課題は。

答弁 (こども局長) 現状は放課後や長期休暇に過ごす場所の約8割が自宅で、課題としては子どもが安全に過ごせる場所を望む保護者が95%おり、行

政として取り組みが必要である。

質問 親の就労に関わらずすべての子どもが過ごせる場所や、猛暑となる夏季休暇の居場所が必要では。

答弁 (教育委員会次長) 放課後子ども教室をすべての子どもを対象とするには人材や場所の確保に課題があり、夏季休暇の子育て広場の利用や運動公園体育館などの開放も現状では難しい。ニーズ調査も踏まえ、関係部署と連携し対応できるものを検討する。

牛久シャトー(株)の事業再生計画のゆくえ

質問 経営の仕組みや債務超過への対応、事業再生のロードマップにおける行政の役割をどう考えるか。

答弁 (環境経済部次長) 共同事業体による指定管理のほか最も適切な形態を検討。債務解消については慎重に検討し、再生計画においては収益性・公共性を勘案し適時適切に対応する。



須藤 京子 議員



6年度の決算は単年度では赤字だが

答弁) 国の定額減税により特定財源の収入減が要因

質問 決算状況を分析すると収支の均衡・プライマリーバランスは図られているが、単年度でみると収支は赤字だ。その要因は。

答弁 (経営企画部長) 単年度収支、実質単年度収支の減少要因は、5・6年度実施の低所得者支援・定額減税を補足する給付金支給事業における未収入特定財源が5年度に収入され、6年度は減少したことによるもの。

質問 将来にわたる財政負担を軽減する財政運営の在り方は。

答弁 (市長) おくの義務教育学校一休型校舎建設や中学生の給食費無償化等の政策的な取り組みをしつつも財政調整基金の繰り入れも行わず事業執行できた。基金残高を確保した上で、市債残高も10億円近く減少でき、持続可能な財政基盤の構築ができていますのと考えています。しかし、今後、多額の事業費がかかる公共施設の老朽化対策等も控えてお



現美 30 周年記念の色鮮やかなのぼり旗

り、国・県の補助金等の活用は当然ながら市債発行、基金の積立や繰入のバランスを図る等に努め、持続可能な財政基盤の構築を図りながら、本市の魅力を高めて「選ばれまち」「住み続けたいまち」としての施策を進めていく。

質問 市は健全な財政運営が図られていると思うが、更なる人口増を図るためにも市の魅力度を高めるまちづくりをすべき。牛久シャトーを核に「文化芸術が香るまち」を推進しては。

答弁 (教育部長) うしく現代美術展実行委員会が30周年記念として牛久シャトーのミュージアムで「森の小さな傑作展」を予定。今後文化芸術事業推進に取り組む。



伊藤 知子 議員



市民の消費生活を守るために

答弁) 消費生活に関する啓発活動の強化に努める

質問 消費生活相談の牛久市ならではの特徵は。

答弁 (環境経済部長) 給湯設備点検に関する電話勧誘の相談が急増。加えて、インターネット通信販売トラブルや副業詐欺に関する相談も増加。被害の拡大防止のため、消費生活に関する啓発活動の一層の強化に努めていく。

質問 市の物価高対策は。

答弁 (経営企画部次長) 学校給食食材の値上がり分を公費負担で賄うことや、ハートフルクーポン券のプレミアム分を20%に拡充している。

質問 相談体制の強化は。

答弁 (環境経済部長) 来年度には、「全国消費生活情報ネットワークシステム」によるウェブ相談が可能に。また、相談員は年間13回の研修で専門性の向上に努めている。休日には、3桁の電話番号188番「消費者ホットライン」を利用できる他、日曜日は県消費生活センターで対応も。市ではHP内の問い合わせフォーム

からメール相談も随時受け付けており、これは県内3市町村のみの実施である。

若者の活躍・定住促進

質問 高校生がアイデアを出し合い、地域づくりに貢献する、他市の成功例を参考に本市でも取り組みをしては。

答弁 (市長) 高校生による組織を立ち上げずとも、市の事業や行事への参画・協力により、連携を図ることはできており、これらを通じて地域活動、社会参画へ興味・関心を持つてもらいたいと考えている。



高校生主体の小山
市「高校生まちづくりプロジェクト」

質問 若者が定住し活躍し続けるための環境整備として、学習スペース等の増設は。

答弁 (経営企画部長) 現段階では開放できる場所も限られることから、ニーズを捉えつつ検討していきたい。

ダブルケアへの支援充実

藤田 尚美 議員



答弁) 既存の相談体制の充実と重層的な支援を行う

質問 現状認識と実態調査は行っているか。

答弁 (保健福祉部長) 実態調査は行っていないが、日々の窓口対応により相談を受ける中でダブルケアと思われる方への支援ニーズを把握している。

質問 ダブルケア相談窓口の配置の考えは。

答弁 関係機関が一体となつて切れ目のない支援を行うことでニーズに対応できると考えている為、相談窓口の設置は検討していない。



女性・子ども・高齢者への災害対策について

質問 乳幼児向け備蓄品の衛生環境の確保について伺う。

答弁 (市民部長) 災害協定によりガスコンロや湯沸し器等

を提供いただく考えである。

質問 高齢者向けの健康や介護状態の維持に必要な備蓄品について伺う。

答弁 日本医師会では災害に備えた非常食同様最低3日分できれば7日分の薬を非常用に常備しておくことを勧めており、自助努力を進めていきたい。

質問 性被害対策を伺う。

答弁 プライベート空間を確保しつつ死角を減らすことは必要であり重要な課題であると認識している。

質問 女性防災リーダー育成プログラムの実施や自主防災組織への女性参画促進策について伺う。

答弁 (市長) 女性防災リーダーの育成は実施していないが今後、避難場所運営委員の選任の際に女性委員選任の重要性について避難場所マニュアルを追記し、リーダーシップが発揮できるような支援を実施し女性目線での安全安心施策の推進をしていく。

牛久市のブランディング戦略は

池辺 己実夫 議員



答弁) 「親子で一緒に成長できるまち」を目指す

質問 ブランディングについて牛久市ではどのように考えているのか。

答弁 (市長公室長) 近年の人口微減の傾向を考慮すると、新たな住宅開発など人口増加策とあわせ、他の自治体とは差別化するブランディング戦略は、市の活力を維持し、更なる発展のための重要な取り組みである。

今後のスケジュール

質問 具体的な戦略策定の今後の展開はどのようになるのか。

答弁 (市長) 「親子施策が充実したまち」というコンセプトを端的に表すブランドメッセージや重点的に行う施策を発表するとともに、コンセプトを視覚的に認識してもらうためのキービジュアルも公開することを考えている。「親子」に着目した自治体は他に例がないことから、市が親子の



親子特区!! うしくのシンボルデザインが、親子がともに成長する姿を、ユーモラスで温かく表現

体験活動や親子の思い出づくりを支援することにより、子どもとともに成長したいと考える親にアピールし、子育て世帯を牛久市に呼び込みたい。

期待する効果

質問 ブランディングにより、牛久市においてどのような効果が期待できるか。

答弁 (市長公室長) 「親子施策が充実したまち うしく」というコンセプトで、子育て世代をターゲットとしたブランディングを進めることにより、若い世代を牛久市に呼び込む戦略に注力していきたい。そして親子がともに安心して暮らすことができ、子育てに適した環境を整えることにより、「親子で一緒に成長できるまち」の実現を目指す。



加藤 政之 議員



ふるさと納税について伺う

答弁) 様々な努力をし拡大を図っていく

質問) 店舗型ふるさと納税の対象施設を、牛久シャトーなどに拡大すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 (市長公室次長) 店舗型ふるさと納税導入拡大は、地域経済の活性化につながる効果が期待できるため、今後、牛久シャトーや宿泊施設等に対象施設の拡大を図っていく。

質問) 10月からポータルサイトが独自に付与するポイントが廃止になり、駆け込み需要が期待されるが、対応は。

答弁 (市長公室次長) 返礼品の供給量を十分に確保し、在庫切れ等による機会損失がないよう事業者と連携し、出荷体制の強化を図っていく。

質問) 寄付先として選んでいく。

答弁 (市長公室次長) 返礼品



牛久市のホームページ

ただくためのPRは。

答弁 (市長公室次長) 今月の「アマゾンふるさとまつり」にて、全国僅か14自治体の出店

枠に牛久市が選ばれ、多くの方々へ牛久の返礼品をPRすることができ、今後も返礼品の魅力を伝える努力を続けていく。

市の公共のNHK受信料の未契約の状況は

質問) 全国で、公用車のカーナビや携帯電話の、NHK受信契約漏れが発覚しているが、本市の現状は。

答弁 (総務部次長) 公用車が

32台、携帯電話が4台、未契約となっていたが、既にテレビを受信出来ないよう措置し、NHKに受信廃止の申し出をしている。

質問) 今後、公用車等購入する際の対応は。

答弁 (総務部次長) 今後の対応として、購入する車両及び携帯電話は、テレビ受信機能のないことを条件に購入していく。



黒木 のぶ子 議員



移動図書館の導入への取り組みは

答弁) 市民にとって利便性はあるが導入は難しい

質問) 本はさまざまな情報源として、いつでも身近で読んだり観たりができる環境が必要である。しかし市内には本屋も少なく図書館も中央図書館一ヶ所のみなので、足腰が悪く移動手段の無い市民は、本を借りたり返却が難しい状況である。

しかしながら市民の多数の方々は本には触れ合っていたとのことと、老人施設から同様の要望がある。

市民の利便性と市民ニーズを考え、移動図書館導入の考えは。

答弁 (教育委員会次長) 図書館が身近になく身体的、時間的に難しい市民には非常に便利だが車両選定や運営スタッフの確保などの課題があり現時点での導入は考えていない。



子ども模擬議会について

質問) 8月8日に実施された子ども模擬議会は小学生による模擬議会なので議会の仕組み、手順等を知る良い機会と考える。しかしながら子どもの質問者に対し答弁者は市長、副市長、教育長だけで部長や次長は同席しているが答弁をしない状況である。今回の模擬議会の参加者は小学生なので、現状の議会と同様の形式で実施をし、議会の仕組みを学ばせることが大切と考えるが。

答弁 (教育委員会次長) 子ども模擬議会は主権者教育推進の一環として実施。議場で市議会を体験することで、政治に参加するための社会的素養を育成し、自ら考え、主体的に行動できる主権者を育成することを目的としている。令和6年度から市を代表する立場から市長・副市長・教育長が答弁している。

市長公約3つのゼロ早期実施を

大森 和夫 議員



答弁) 国の動向で判断、公共施設改修等が優先

質問 小学校給食費無償化について。財政調整基金が令和6年度決算で約3億円増え約45億円と増大した基金の効率的な利用は。

答弁 (市長) 大型施設改修など大幅歳出が予定され、実施と活用予定はない。

質問 18歳までの医療費完全無償化について。

答弁 (保健福祉部次長) 就学前無償化を実施し、拡大予定なし。

質問 加齢性難聴の補聴器購入費助成制度について。意見書が全会一致で可決され5年たった。難聴で認知症リスクが高くなる、1人3万円の助成額として50人で150万円の予算でできるが。

答弁 (保健福祉部次長) さらに検討と周辺自治体調査を行う。

質問 運転免許返納支援について。

答弁 (市民部次長) うしタク。かっぱバス利用割引で予定なし。

質問 うしタク3台では、希望通り使えない。ライドシェアも高齢者は使いづらく、改善が必要。増車と増便、かっぱバスなどの運行時間拡大を求める。買い物・通院支援について。

答弁 (市民部次長) うしタク。かっぱバス割引や現行の杖やシルバーカー助成制度のみ。

質問 食料や日用品の購入、税金や保険料、公共料金などの支払いが不便となり、出前サービスの新規補助について。

答弁 (保健福祉部次長)

民営圧迫となるため、予定なし。

(掲載以外の質問事項)

○税・保険料の収納状況・不能欠損・未申告状況などについて



5歳児健診の実施に向けた市の考え

遠藤 憲子 議員



答弁) 療育等の支援や早期発見・早期対応に努める

質問 こども家庭庁は2028年度に全国の自治体で5歳児健診の実施を目指している。現在5児健診は任意で市は実施していない。就学前に言葉の遅れなどから発達障害の特性を見つけやすいという。市の考えは。

答弁 (こども局長) 5歳児への支援では、成長発達確認票で保健師による問診と合わせて視覚検査を実施。就学相談や巡回相談、医療や療育等の支援に繋げ、早期発見・早期対応に努める。



生活環境整備、市民サービスの充実に向けた取り組み

質問 市道の舗装整備や課題と対応策は。

答弁 (建設部長) 未舗装は雨水排水等の課題があり当面は

維持管理を優先し、碎石での補修工事に対応。必要に応じ舗装工事を実施する場合もある。

質問 雨水対策でU字溝の未整備の対応策は。

答弁 U字溝未整備は狹隘道路で、道路拡幅と流末の確保が必要。セトバック等や事前調査、隣地地権者との調整が必要。冠水発生は、安全確保を優先し暫定的な工事を実施。

質問 総合福祉センターの入浴施設の現状と整備、今後は。

答弁 (保健福祉部次長) 男性風呂のろ過器が故障し、昨年10月から女性風呂を1日におきに男女交互に利用。ろ過装置はろ過材を交換。総合福祉センター運営協議会で方向性を示していく。

質問 うしタク利用者の要望に対して現状、改善、今後は。

答弁 (政策企画部次長) 3台の車両で利用増には応えられていない。ワゴン車導入や配車の効率化等に努める。



出澤 大 議員



牛久市内のメガソーラーの現状は

答弁) 5か所あり、総敷地面積は 46.4ha である

質問 事業者が行った事前調査によると、湧き水がなかったとの事ですが、それはどのような業者が評価を行ったのでしょうか？メガソーラー建設事業者と評価業者との間には利害関係



※涵養(かんよう)機能とは？
涵養機能とは、主に森林が、降水を土壌に浸透・貯留させ、ゆっくりと河川に流出させることで、水資源を育み、水量の安定化や水質の浄化を促す働きを指します。この機能により、洪水の緩和と渇水の防止、おいしい水の供給に貢献するため、「緑のダム」とも呼ばれます。

答弁 (建設部長) 事業者から計画が提出された場合には直ちに認めるという姿勢ではなく、自然環境や災害時における対応など、太陽光施設と近隣住民の生活調和が図れるよう市民の皆様の不安や懸念に十分に配慮し慎重に審査を実施し、事業者に対し助言等

も行う方針である。
答弁 基本的には事業者の責任において実施すべきであり、また茨城県が水源の※涵養機能に支障を及ぼさない等の事業計画を審査した上で森林法による許可を出していることから、改めて市が独自に事前調査を実施する予定はない。
※カーボンニュートラル・ゼロエミッションに向けた取り組みについて

質問 牛久市はメガソーラー開発に適しており、事業者に注目されていると感じているが、今後事業者から計画が提出された場合前向きに認める方針か、市民の懸念(自然破壊、景観悪化、土砂災害リスク)等に配慮し慎重に調査する方針か、見解を伺う。

が存在し、評価の客観性や中立性が損なわれていると指摘されている事例は全国で数多く報告されています。事業者任せにせず、市がしっかりと調査を行うべきであると考え、市の見解を伺う。



水梨 伸晃 議員



地域活動に高校生が参加する仕組み作りは

答弁) ニーズを把握し、アイデアがあれば検討

質問 最も大切なのは当事者である高校生の声だと考える。アンケートや意見交換会を通じて、ニーズを直接聞く場を設ける考えはあるか。
答弁 市の企画にボランティア等で参加している機会を通

質問 ある調査では、高校生の社会参加率は低いというデータがある。高校生が地域で活動できる場を整備する必要性について、当市の考えを伺う。
答弁 (教育部長) 地域で活動する場は必要であると考えているが、まずは興味関心を深めてもらうことが重要。
質問 牛久市として、他市町村で行っている『高校生会』のような仕組みの導入について伺う。
答弁 現段階で具体的な計画はない。ただし、高校生会という組織を立ち上げなくとも、市で実施している事業などに協力してもらうことで、地域への関心を深めてもらえればと思う。

じて、把握したい。
質問 そのような場に様々な事情があり参加できない高校生や、ボランティアに関心のない高校生の意見は、どのように集約していくのか伺う。
答弁 授業や課外活動の中で、意見を募集できる環境を整えていきたいと考えている。ただし、高校には独自のカリキュラムがあるため、連携を図りながら進める必要がある。高校生が主体的に興味をもてるような話題づくりも有効であると考えている。各高校の理解を得ながら連携を図っていききたい。



外国人の日本語や生活ルール理解

伊藤 裕一 議員



答弁) 日本語教室、翻訳機、ホームページを活用

質問 外国籍住民に日本語や生活ルールを理解いただく取り組みの状況は。

答弁 (市民部次長) 国際交流協会ボランティアを講師として日本語教室を開催。市役所窓口で自動翻訳機を活用。生活ルールについてはゴミ出し等でホームページを案内している。

質問 本年、市職員採用試験のグローバル枠が新設され、外国籍人材を募集したが、詳細と人事上の制限は。

答弁 (市長) グローバル枠で外国籍人材1名程度を募集。昨今の業務の国際化、多様化を尊重し、イノベーション促進に期待している。公権力の行使業務には携われず、公の意思形成に携わる管理職には就任できない。

質問 外国人の犯罪、生活保護、社会保険、納税の状況は。

答弁 (市民部次長) 7月末時点の牛久警察署管内の犯罪検挙件数は307件、同一期間の在留資格を持つ外国人による

犯罪検挙件数は10件。

答弁 (保健福祉部次長) 永住者等について生活保護に準じた対応をしている。審査については国民と同様。592人の生活保護受給者のうち12人が外国人である。

答弁 (保健福祉部次長) 国民健康保険や後期高齢者医療保険について、日本人と同じ加入条件のもと、滞在期間が3か月未満である者等を除き加入対象となる。

答弁 (総務部次長) 外国人滞納者に特化した正確な数は把握していない。在留期間更新の際、納税証明書を申請者が出入国在留管理庁に提出している。



小中学校にナイター導入はどうか

高嶋 基樹 議員



答弁) 新たな導入予定は無く、状況を注視していく

質問 設置することで酷暑対策だけでなく幅広い生涯スポーツの促進が図れる。他県での設置事例はあるが本市ではどうか。

答弁 (教育委員会次長) 現在、小中・義務教育学校のグラウンドにナイター設備を導入する予定は無く、実際に進める場合には地域の実情やニーズ、環境への配慮、児童生徒の活動上の安全配慮など、総合的な判断に基づき検討していく。

質問 既にナイター完備の施設を充実させていく考えは。

答弁 (市長) 牛久運動広場(城



牛久運動広場(牛久市ホームページより)照明が整備されたグラウンド

中グラウンド)や奥野運動広場は照明完備であるが利用率が高くない。施設の充実としては土のグラウンドを芝生化することも挙げられるが、できる種目が限定的になる可能性もあり、現段階での計画はない。

質問 導入後の費用について、負担となる人件費は民間で実装しているような、ネット予約でパスワードキーを取得して利用者自身が照明の入電をできるシステムを導入する他、電気代は自家消費分を太陽光発電でカバーするといった方法の比較検討が今後必要と考えるがどうか。

答弁 (教育委員会次長) 利用者にも協力を得て管理できる形なので、人件費の一部削減につながるかと考え調査研究をする。また、太陽光発電は現有照明設備の改修時に検討したい。

(掲載以外の質問事項)
○女化グラウンドについて

常任委員会審査報告

総務企画常任委員会

国の税制改正に伴い

牛久市税条例の一部を改正

■特定親族特別控除の新設

大学生年代（19歳以上23歳未満）の就業調整（働き控え）解消のため、合計所得金額158万円超123万円以下一の者について控除が新設される。控除額は最高45万円から最低3万円までで、合計所得金額95万円超から、所得に応じて段階的に減額となる。

問 年齢の条件や別居の場合はどうなるのか。

答 年齢は、その年の12月31日時点で19歳以上23歳未満であること。別居でも生計を一にしていることが条件となる。

自転車事故を減らすための
取り組みを

意見書案

全ての自転車利用者を対象とする安全運転講習制度の導入や安全運転教本の配布等を早急に実施するように国に対し強く求める。

近年、自転車に関連する事故が増加している。現在、一定の違反行為を3年以内に2回以上行った利用者だけを対象としている講習制度を改め、自転車に関連する一層の交通事故防止を図る目的。



教育福祉常任委員会

牛久市乳児等通園支援事業
（こども誰でも通園制度）に
係る条例

こども誰でも通園制度とは

0歳6か月～満3歳未満で保育施設に通っていない子どもを対象とし、月一定時間の利用可能枠で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育施設等を利用できる制度のこと。

問 どの保育園で行われるのか。

答 現時点で民間保育園は保育士や保育室の確保の点から実施が困難な

ため、令和8年から令和10年までは公立つつじが丘保育園で行う。その状況を見てもいいながら、今後民間保育園にも

参加してもらいたいと考えている。



公立保育園の存続のため
下根保育園を長寿命化改修

公立保育園の役割

① 受入れ困難児の受入れ先としての
セーフティーネット機能

② 行政と民間保育園のつなぎ役

③ 災害時や緊急時に民間保育園が休園になった際の一時的な受入れ先

④ 出生数の増減等に伴う需要と供給量の調整役

公立保育園存続のため、長寿命化改修工事を行うことによって、20年の延命を図る。

問 保育中にどのように工事を行うのか。

答 仮設園舎は建てず、1室ずつ工事を行う。在園時間は騒音や粉塵が出ないよう工事を行い、日曜日に

集中的に行うなど、保育の妨げにならないよう配慮する。土曜保育は栄町保育園で行う。



外壁改修、屋根塗装、防水改修を行う。内部は床や建具、壁の改修、天井塗装などを行う他、トイレの更新やLED照明への更新等を行う。

環境建設常任委員会

移動等円滑化のために必要な
特定公園施設の設置に関する
基準を定める条例の一部改正

高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）施行令の改正に伴う改正
問 バリアフリー法の何が変わったのか。

答 劇場の客席の規定に関するものが新たに条文に加えられた。

予算常任委員会

「牛久市中学生混声合唱団」
休日における部活動
地域へ移行

国が進める中学校部活動の地域移行について、茨城県における実証事業を実施する 委託料122万円
地域の指導員（合唱指導経験者）の指導により、月4回（毎週土曜日または日曜日）、1日3時間の活動を行う。対象者は市内中学生全て。

問 活動場所やその場所への移動手段は。また活動にかかる費用は。

答 活動場所はひたち野うしく小の音楽室や中央生涯学習センターの視聴覚室など。移動手段は自転車を想定しているが、遠方の場合には保護者の送迎になる。個人の譜面代や講師の報酬の一部負担など参加費は3千円。

これは参加人数15人を想定して出した金額なので、参加人数によって変わることがある。



ひたち野うしく駅西口にある万博中央駅跡の記念碑。記念碑には「飛翔」の文字とその当時の万博や牛久の様子などが刻まれている。

市制施行40周年記念事業
つくば科学万博の駅名サイン
を設置
337万円

1985年のつくば科学万博の玄関駅となった「万博中央駅」は現在の「ひ



たち野うしく駅」である。
その当時使用されていた駅名サインをひたち野うしく駅の西口に設置する。

問 設置する目的と効果は。

答 つくば科学万博の玄関口となっていた頃から、その後、街が形成されてきた経緯を踏まえ、市政施行後40年間の歩みを振り返り、市民の郷土愛を醸成すると共に、来訪者を増加させるきっかけの一つとして、牛久市のPRに繋げていく。

牛久シャトーで
いばらきワインのイベントを

ワイン文化日本遺産協議会の負担金の増額 700万円

日本ワインの発祥の地「牛久シャトー」でワインと食のイベントを開催する。茨城県内ワイナリーのワインや茨城県産食材を使用した飲食ブース、市内事業者のブースなどを出店予定。

問 ワインを振興策の1つと位置づけていると捉えているが、今後このようなイベントを展開していくのか。

答 山梨県や長野県はワイナリーが協議会を作って、まずは甲州ワインとして全国に売り出していく、そ

の中で各ワイナリーがそれぞれ切磋琢磨しながら良い品質のものを作っている傾向があると認識している。

いばらきのワインが一堂に集まる今回のような取り組みにより、まずはいばらきワインが有名になって、その中で牛久シャトーのワインが売り出せるようになれば良いと考えており、そのような思いでイベントを開催したいと考えている。



牛久シャトー

市政施行40周年記念事業およびいばらきワインのイベントについては、さまざまな意見や質問があった。

議案の審議結果

凡例： ○…賛成、×…反対 不…採決時不在
小松崎伸 議長(政和クラブ)は採決には加わっておりません

賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議 案 等 名
【第3回定例会】	
51号	牛久市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
52号	牛久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
53号	牛久市税条例の一部を改正する条例について
54号	牛久市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
55号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第4号)
56号	令和7年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
57号	令和7年度牛久市青果市場事業特別会計補正予算(第1号)
58号	令和7年度牛久市介護保険事業会計補正予算(第1号)
59号	令和7年度牛久市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)
60号	令和7年度牛久市下水道事業会計補正予算(第2号)
61号	令和6年度牛久市下水道事業会計末処分利益剰余金の処分について
62号	財産の取得について
63号	工事請負契約の締結について
64号	物品購入契約の締結について
65号	牛久市教育長の任命について
66号	牛久市教育委員会委員の任命について
67号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第5号)
68号	財産の取得について
諮問第14号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
意見書案14号	自転車の安全運転に係わる講習制度の導入等を求める意見書の提出について

賛否が分かれた議案等

議案番号	議 案 等 名	市民クラブ	政和クラブ	公明党	日本維新の会	日本共産党	うしく未来プロジェクト	無会派(山本)	無会派(池辺)	無会派(甲斐)	無会派(磯山)	無会派(加藤)	議決結果
議案50号	牛久市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
認定1号	令和6年度牛久市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
意見書案13号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	可決

会派構成

市民クラブ	政和クラブ※	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無会派
黒木 のぶ子 須藤 京子 杉森 弘之 出澤 大	小松崎 伸 石原 幸雄 高嶋 基樹	藤田 尚美 鈴木 勝利 伊藤 知子	遠藤 憲子 大森 和夫	伊藤 裕一 水梨 伸晃	塚原 正彦 柳井 哲也	山本 伸子 池辺 己実夫 甲斐 徳之助 磯山 和男 加藤 政之

※会派「自民党うしく21」は「政和クラブ」に名称を変更しました。
※令和7年8月25日付諸橋太一郎議員が辞職しました。

気になることをさくさく検索！

会議録検索システムを 導入しました

議会の会議録の内容について、簡単に且つ
知りたい内容を的確に検索できるようになりました。

どんなことが調べられるの？

会議録とは、会議の活動経過の記録です。
以下の情報が記録されています。

- 会議が開催された日時と場所
- 出席議員の氏名
- 議題となった事項
- 発言内容

① ことばで検索

地域の問題、あなたの周りの気になることなど、
議会で取り上げられているかもしれません。気にな
る「ことば」を入れて検索してみてください。

② 発言者で検索

特定の発言者に絞って内容を確認することが
できます。議員の名前で検索することで、その
議員がどのような質問や発言をしたか知ること
ができます。

その他、会議名や期間で検索することが
できます。ぜひご活用ください。
ホームページからご覧ください。



牛久市議会会議録

トップページ | くわしく検索 | 会議録一覧 | 使い方の説明

新着情報
2025-08-29 令和7年第2回臨時会、第2回定例会を公開しました。

ご利用にあたって
当システムでは「ことば」「発言者」「会議名」「期間」別に検索できます。これらを組み合わせて検索することもできます。令和4年以降の会議録を検索、閲覧できます。

かんたん検索
会議録を「ことば」で検索します。複数の検索語を入力するときは空白で区切ってください。
検索語:
検索対象の会議: ☒ すべて ☐ 本会議 ☐ 常任委員会 ☐ 予算・決算委員会

くわしく検索

① ことばで検索
ことばを入力して検索します

② 発言者で検索
発言者を選択して検索します

③ 会議名で検索
会議名を選択して検索します

④ 期間で検索
期間を選択して検索します

お問い合わせ
牛久市議会事務局
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1
TEL: 029-873-2111

最近の会議録一覧

令和7年	令和6年	令和5年
第1回臨時会	第1回臨時会	第1回臨時会
第1回定例会(質問二覽)	第1回定例会(質問二覽)	第1回定例会(質問二覽)
第2回臨時会	第2回臨時会	第2回臨時会
第2回定例会(質問二覽)	第2回定例会(質問二覽)	第2回定例会(質問二覽)
	第3回臨時会	第3回臨時会
	第3回定例会(質問二覽)	第3回定例会(質問二覽)
	第4回臨時会	第4回臨時会
	第4回定例会(質問二覽)	第4回定例会(質問二覽)
	総務企画常任委員会	総務企画常任委員会
	教育文化常任委員会	教育文化常任委員会
	保健福祉常任委員会	保健福祉常任委員会
	環境建設常任委員会	環境建設常任委員会
	予算常任委員会	予算常任委員会
	決算特別委員会	決算特別委員会

議会のしくみ

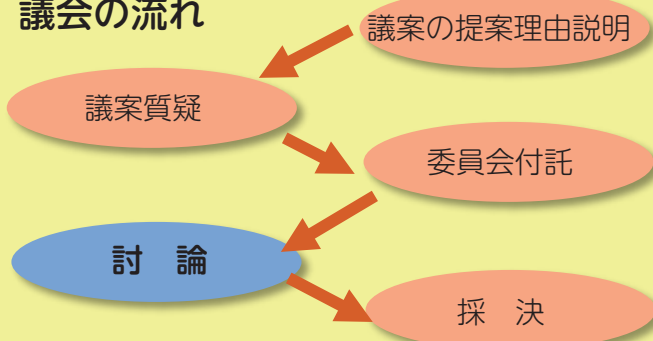
Q 討論とは



討論と聞くと、ある特定のテーマについて複数の人が意見を述べ、意見を戦わせることを想像される方が多いと思います。

議会でおこなわれる討論とは、**議題となっている案件に対して、賛成か反対か自己の意見を表明することです。**

議会の流れ



討論は議員が議員に向けて行うものです。自己の意見を表明することで、異なる賛否を持つ他の議員を自分の意見に同調させる目的があります。

あなたの思いを聴く人がここにいます

公益社団法人認知症の人と家族の会 茨城県支部

まちかど TOPICS

茨城県支部が牛久市役所敷地内にあることをご存じですか？

こちらでは認知症に関する相談の受付や、認知症の方やその介護者などを支援するための活動を行っています。茨城県支部の牧野代表と細谷さんにお話をお伺いしました。



左から牧野代表と細谷さん。牧野代表が手に持っているものは認知症マフといい筒状のニットで出来ています。認知症の人の心身の緊張を和らげ、安心感を与えるのに役立つと言われていました。

NO 認知症, NO LIFE ～認知症は自分事～

認知症は高齢者だけの病気ではなく、働き盛りや子育て世代の若い方でも発症することがあります。「認知症はいつかなる」と捉え、「予防」を意識した生活や、お金のこと・受ける医療の希望を話し合うなどの「備え」をしておくことが必要です。また、一人悩んだり家族で抱え込んだりしてしまいがちですが、相談できる場があります。電話相談の他、介護者のつどいにご参加ください。詳しくは支部のホームページをご覧ください。

あなたの経験を相談に生かしてみませんか

自分自身の介護経験などを語ることで、現在お困りの方の力になることができます。お互いに助け合う「ピアサポーター」として一緒に活動してみませんか？

取材を終えて

支部代表に「認知症」についてどのように認識しているかと質問をされたとき、認知症の方と接した経験や高齢の親に思うこと、ヤングケアラーの問題や虐待など、さまざまな意見が出ました。今回の取材を通して、認知症の方や家族が抱える悩み、また介護や医療の問題について改めて認識しました。今後さらに認知症の人が増え続ける中、共生社会の構築や政策の充実の必要性を感じました。



編集後記

今号の表紙をご覧になって、「あれ？」と思われた方もいらっしゃるかもしれません。これまで小中学生の皆さんに夏休みの自由課題として題字を書いていただき、表紙を飾ってきました。どの作品も元気いっぱい、見る人を明るくするすばらしいものばかりでした。今回「伝統も大切にしよう」と元の形に戻しましたが、子どもたちの感性にふれられたあの企画は、議会にとって大切な財産です。応募してくれた児童・生徒の皆さん、そして支えてくださったご家庭の皆さま、本当にありがとうございました。

今議会では決算審議を行い、市のお金の使い方をしっかり確認しました。市民の皆さまの暮らしにどう結びついているのかを検証する大切な機会でもあります。今後も「市議会だより」を通じて、市政や議会を身近に感じていただければ幸いです。(伊藤)

■発行・編集 広報常任委員会

委員長 水梨 伸晃

副委員長 伊藤 知子

委員 石原 幸雄 大森 和夫 塚原 正彦
出澤 大 加藤 政之

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029・873・2111 (牛久市議会事務局)

今年も開催します

議員と話してみませんか 意見交換会

令和7年 11月8日(土)

午前10時～午前11時30分

3会場
同時開催

■中央生涯学習センター 大講座室
■三日月橋生涯学習センター 研修室
■奥野生涯学習センター 研修室

「こんなまちにしたい」
子育て・教育・福祉・観光・環境・交通など、
牛久市のこれからのことをテーマに意見交換を行います。
お気軽にお越しください。

参加費無料
事前予約不要



学生さん
お子様連れ(※)
大歓迎！

※中央生涯学習センターには
キッズスペースを用意しています